

行田市議会情報セキュリティ  
基本方針

令和8年3月  
行田市議会



## 行田市議会情報セキュリティ基本方針 目次

1	目的	1
2	定義	1
(1)	ネットワーク	1
(2)	情報システム	1
(3)	情報セキュリティ	1
(4)	情報セキュリティポリシー	1
(5)	機密性	1
(6)	完全性	1
(7)	可用性	1
(8)	L G W A N接続系	1
(9)	インターネット接続系	1
(10)	通信経路の分割	1
(11)	無害化通信	1
3	対象とする脅威	2
4	適用範囲	2
(1)	情報資産の範囲	2
5	議員の遵守義務	2
6	情報セキュリティ対策	2
(1)	組織体制	2
(2)	情報資産の分類と管理	3
(3)	情報システム全体の強靱性の向上	3
(4)	物理的セキュリティ	3
(5)	人的セキュリティ	3
(6)	技術的セキュリティ	3
(7)	運用	3
(8)	外部サービス（クラウドサービス）の利用	3
(9)	評価・見直し	3
7	情報セキュリティ監査及び自己点検の実施	4
8	情報セキュリティポリシーの見直し	4
9	情報セキュリティ対策基準の策定	4
10	情報セキュリティ実施手順の策定	4

## 1 目的

本基本方針は、行田市議会（以下「市議会」という。）が保有する情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するため、市議会が実施する情報セキュリティ対策について基本的な事項を定めることを目的とする。

## 2 定義

### (1) ネットワーク

コンピュータ等を相互に接続するための通信網、その構成機器（ハードウェア及びソフトウェア）をいう。

### (2) 情報システム

コンピュータ、ネットワーク及び電磁的記録媒体で構成され、情報処理を行う仕組みをいう。

### (3) 情報セキュリティ

情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持することをいう。

### (4) 情報セキュリティポリシー

本基本方針及び情報セキュリティ対策基準をいう。

### (5) 機密性

情報にアクセスすることを許可された者だけが、情報にアクセスできる状態を確保することをいう。

### (6) 完全性

情報が改ざん、破壊、紛失又は消去されていない状態を確保することをいう。

### (7) 可用性

情報にアクセスすることを許可された者が、必要なときに中断・停止されることなく、情報にアクセスできる状態を確保することをいう。

### (8) L G W A N接続系

L G W A Nに接続された情報システム及びその情報システムで取り扱うデータをいう。

### (9) インターネット接続系

インターネットメール、ホームページ管理システム等に関わるインターネットに接続された情報システム及びその情報システムで取り扱うデータをいう。

### (10) 通信経路の分割

L G W A N接続系とインターネット接続系の両環境間の通信環境を分離した上で、安全が確保された通信だけを許可できるようにすることをいう。

### (11) 無害化通信

インターネットメール本文のテキスト化や端末への画面転送等により、コン

ピユータウイルス等の不正プログラムの付着が無い等、安全が確保された通信をいう。

### 3 対象とする脅威

情報資産に対する脅威として、以下の脅威を想定し、情報セキュリティ対策を実施する。

- (1) 不正アクセス、ウイルス攻撃、サービス不能攻撃等のサイバー攻撃や部外者の侵入等の意図的な要因による情報資産の漏えい・破壊・改ざん・消去、重要情報の詐取、内部不正等
- (2) 情報資産の無断持ち出し、無許可ソフトウェアの使用等の規定違反、操作・設定ミス、メンテナンス不備、マネジメントの欠陥、機器故障等の非意図的的要因による情報資産の漏えい・破壊・消去等
- (3) 地震、落雷、火災等の災害によるサービス及び業務の停止等
- (4) 広範囲にわたる疾病による要員不足に伴うシステム運用の機能不全等
- (5) 電力供給や通信の途絶、インフラの障害からの波及等

### 4 適用範囲

本基本方針は、行田市議会議員に適用する。

なお、議会事務局職員及び会計年度任用職員（以下「職員等」という。）は、行田市情報セキュリティポリシーに従わなければならない。

#### (1) 情報資産の範囲

本基本方針が対象とする情報資産は、次のとおりとする。

- ① ネットワーク及び情報システム並びにこれらに関する設備及び電磁的記録媒体
- ② ネットワーク及び情報システムで取り扱う情報（これらを印刷した文書を含む。）
- ③ 情報システムの仕様書及びネットワーク図等のシステム関連文書

### 5 議員の遵守事項

議員は、情報セキュリティの重要性について共通の認識を持ち、市議会の議会運営及び議員活動の遂行に当たって情報セキュリティポリシー及び情報セキュリティ実施手順を遵守しなければならない。

### 6 情報セキュリティ対策

上記3の脅威から情報資産を保護するために、以下の情報セキュリティ対策を講じる。

(1) 組織体制

市議会の情報資産について、情報セキュリティ対策を推進する組織体制を確立する。

(2) 情報資産の分類と管理

市議会の保有する情報資産を機密性、完全性及び可用性に応じて分類し、当該分類に基づき情報セキュリティ対策を実施する。

(3) 情報システム全体の強靱性の向上

情報セキュリティの強化を目的とし、業務の効率性・利便性の観点を踏まえ、情報システム全体に対し、次の対策を講じる。

① L G W A N 接続系においては、L G W A N とインターネット接続系の情報システムとの通信経路を分割する。なお、両システム間で通信する場合には、無害化通信を実施する。

② インターネット接続系においては、不正通信の監視機能の強化等、情報セキュリティ対策を実施する。

(4) 物理的セキュリティ

サーバ、情報システム設置場所、通信回線及びタブレット端末等の管理について、物理的な対策を講じる。

(5) 人的セキュリティ

情報セキュリティに関し、議員が遵守すべき事項を定めるとともに、十分な研修及び啓発を行う等の人的な対策を講じる。

(6) 技術的セキュリティ

ネットワーク等の管理、アクセス制御、不正プログラム対策、不正アクセス対策等の技術的対策を講じる。

(7) 運用

情報システムの情報セキュリティポリシーの遵守状況の確認及び情報セキュリティポリシーの運用面の対策を講じるものとする。また、情報資産に対するセキュリティ侵害が発生した場合等に迅速かつ適正に対応するため、市の緊急時対応計画を準用する。

(8) 外部サービス（クラウドサービス）の利用

外部サービス（クラウドサービス）を利用する場合には、利用に係る規定を整備し、対策を講じる。

ソーシャルメディアサービスを利用する場合には、ソーシャルメディアサービスの運用手順を定め、ソーシャルメディアサービスで発信できる情報を規定し、利用するソーシャルメディアサービスごとの責任者を定める。

(9) 評価・見直し

情報セキュリティポリシーの遵守状況を検証するため、必要に応じて情報セ

セキュリティの自己点検を実施し、運用改善を行うとともに、情報セキュリティの向上を図る。情報セキュリティポリシーの見直し等が必要な場合は、適宜、見直しを行う。

#### 7 情報セキュリティ監査及び自己点検の実施

情報セキュリティポリシーの遵守状況を検証するため、必要に応じて情報セキュリティ監査及び自己点検を実施する。

#### 8 情報セキュリティポリシーの見直し

情報セキュリティ監査及び自己点検の結果、情報セキュリティポリシーの見直しが必要となった場合及び情報セキュリティに関する状況の変化に対応するため新たに対策が必要になった場合には、保有する情報及び利用する情報システムに係る脅威の発生の可能性並びに発生時の損失等を分析し、リスクを検討したうえで、情報セキュリティポリシーを見直すこととする。

#### 9 情報セキュリティ対策基準の策定

上記6、7及び8に規定する対策等を実施するために、具体的な遵守事項及び判断基準等を定める情報セキュリティ対策基準を策定する。

#### 10 情報セキュリティ実施手順の策定

情報セキュリティ対策基準に基づき、情報セキュリティ対策を実施するための具体的な手順を定めた情報セキュリティ実施手順を策定するものとする。

なお、情報セキュリティ実施手順は、公にすることにより市議会の議会運営及び議員活動等に重大な支障を及ぼすおそれがあることから非公開とする。